

平成18年10月31日

住友金属工業株式会社

## 平成19年3月期 中間決算概要

### 1 . 連結決算

	〔平成18年9月中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日〕	〔平成17年9月中間期 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日〕	〔平成18年3月期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕
売上高	億円 7,682	億円 7,305	億円 15,527
営業利益	億円 1,351	億円 1,448	億円 3,058
経常利益	億円 1,560	億円 1,318	億円 2,807
中間(当期)純利益	億円 997	億円 920	億円 2,212
総資産	億円 21,203	億円 20,005	億円 21,133
借入残高	億円 6,677	億円 7,961	億円 6,797

### 2 . 単独決算

売上高	億円 4,951	億円 4,500	億円 9,549
営業利益	億円 1,161	億円 1,042	億円 2,223
経常利益	億円 1,273	億円 902	億円 1,945
中間(当期)純利益	億円 773	億円 430	億円 1,297
総資産	億円 17,210	億円 15,259	億円 16,565
借入残高	億円 5,742	億円 5,808	億円 5,357



# 平成19年3月期 中間決算短信(連結)

平成18年10月31日

上場会社名 住友金属工業株式会社  
 コード番号 5405

上場取引所 東 大 名 札 福  
 本社所在都道府県 大阪府

(URL <http://www.sumitomometals.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 友野 宏  
 問合せ先責任者 役職名 広報グループ長 氏名 松井 俊文 TEL (03) 4416-6115

決算取締役会開催日 平成18年10月31日

親会社等の名称 (コード番号: ) 親会社等における当社の議決権所有比率 - %

米国会計基準採用の有無 無

## 1. 18年9月中間期の連結業績(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

### (1) 連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年9月中間期	768,222	5.2	135,128	6.7	156,007	18.3
17年9月中間期	730,565	27.3	144,805	84.9	131,840	84.1
18年3月期	1,552,765	-	305,804	-	280,733	-

	中間(当期)純利益		1株当たり中間(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
18年9月中間期	99,784	8.4	20.78	20.77
17年9月中間期	92,072	104.1	19.17	-
18年3月期	221,252	-	46.03	46.02

(注) 持分法投資損益 18年9月中間期 24,570百万円 17年9月中間期 6,811百万円  
 18年3月期 16,676百万円  
 期中平均株式数(連結) 18年9月中間期 4,801,784,337株 17年9月中間期 4,802,832,360株  
 18年3月期 4,802,583,988株  
 会計処理の方法の変更 無  
 売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
18年9月中間期	2,120,363	829,505	37.1	163.98
17年9月中間期	2,000,553	579,190	29.0	120.60
18年3月期	2,113,391	720,866	34.1	150.07

(注) 期末発行済株式数(連結) 18年9月中間期 4,801,377,896株 17年9月中間期 4,802,655,954株  
 18年3月期 4,802,167,604株  
 17年9月中間期および18年3月期の「純資産」、「自己資本比率」、「1株当たり純資産」の数値については、従来の「株主資本」、「株主資本比率」、「1株当たり株主資本」を記載しております。

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年9月中間期	74,689	43,621	38,496	25,512
17年9月中間期	150,276	50,294	120,839	21,915
18年3月期	311,943	63,892	258,367	32,596

### (4) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 71社 持分法適用非連結子会社数 2社 持分法適用関連会社数 29社

### (5) 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 3社(除外) 4社 持分法(新規) 2社(除外) 1社

## 2. 19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	1,560,000	300,000	190,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 39円57銭

なお、本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料7ページを参照下さい。

## 1. 経営方針、経営成績及び財政状態

### (1) 経営方針

#### a. 会社経営の基本方針及び目標とする経営指標

当社グループは、本年4月、10年先のあるべき姿を見据え、『中期経営計画 2006～2008』を策定いたしました。

本経営計画では、「質」と「規模」のバランスを重視した着実な成長を目指します。

#### 「差別化」の加速と堅固な事業基盤の構築

鉄鋼市場は高級品と一般汎用品に二極化し、将来に向けてその競争環境がますます激化することが見込まれます。当社グループは、シームレスパイプ、交通産機品、自動車向け薄板、特殊鋼など、優位性を持ち需要変動の影響を受けにくい製品群を有していますが、このような競争力のある「強いところをより強く」するために、経営資源の集中を図り、「差別化」を加速していきます。

この方針に沿って、今次中期経営計画では、設備投資を前中期経営計画から倍増し、営業キャッシュ・フローの半分以上にあたる4,800億円を投じ、事業基盤強化を実行していきます。

#### 「見えない資産」を磨く

企業価値向上にむけて、製鉄所の競争力や強固な財務体質という堅固な事業基盤を築き、これら各事業の基盤を支える、お客様資産、人的資産、技術資産、組織資産といった「見えない資産」をさらに磨いていきます。

お客様資産については、「お客様評価 No.1」に向けた取り組みに継続して注力していきます。これまでこうした取り組みについては、お客様から評価され、数多く表彰をいただいておりますが、今後ともお客様との距離を縮め、関係深化になお一層努めていきます。

人的資産の強化については、当社グループ内の重大災害の撲滅を進めるとともに、今後の少子高齢化社会や大量の定年退職者発生に対応し、採用ソースの多様化によって、優秀な人材を継続的に採用し、教育プログラムも一層充実することにより、「強い現場」を維持向上していきます。

技術資産の強化については、将来の成長のために要素技術の選択と集中を進め、研究者を集中投入します。また、オリジナル研究設備の導入や、大学など外部研究機関との連携も強化するなど、研究開発費を前中期経営計画対比20%増やします。

このように、当社グループは、「質」と「規模」のバランスの重視、「強いところをより強く」、「お客様評価 No.1」を基本として、「住金らしさ」を追求していきます。

〔参考〕 中期経営計画における連結財務指標 （単位：億円）

	2008 年度計画
売上高	16,200 程度
営業利益	3,000 程度
経常利益	2,900 程度
当期利益	1,800 程度

総資産	23,800 程度
借入金	6,800 程度
株主資本	10,700 程度

ROA	13%程度
株主資本比率	45%程度
D / E レシオ	0.6 程度

（3ヶ年キャッシュフローと用途）

	2006～2008 年度 計画
営業キャッシュフロー	9,200
借入金返済	100
配当	900
税	2,900
投融資等	4,800
金利	500

鉄鋼業界では、世界的な規模での業界再編の動きが活性化しており、粗鋼規模が合計で1億トンを超える巨大グループの誕生という大きなトピックスにゆれています。

当社グループとしましては、「質」と「規模」のバランスを重視した持続的成長のための投資をタイムリーかつ果敢に加速するとともに、「見えない資産」に一層の磨きをかけ、企業価値を高めてまいります。

当社グループには100年以上のものづくりの歴史に加え、400年にもわたって鍛え抜かれてきた「我営業は確実を旨とし、時勢の変遷、理財の得失を計りて之を興廃し、苟くも浮利に趨り軽進す可らざる事」という言葉に代表される住友の事業精神があります。

この事業精神を全ての基本として、本計画の諸施策を着実に実行することにより中長期的に企業価値を高め、ステークホルダーの皆様から「信頼される会社」を実現していきます。

## b. 会社の利益配分に関する基本方針

当社は、『中期経営計画 2006～2008』に掲げた諸施策の実行を加速し、ダウンサイドリスクに強い収益構造を実現して、安定配当の継続をベースに株主の皆様への利益還元に取り組んでまいりの方針であります。

当中間期は経常利益が過去最高となり、通期でも経常利益は3期連続して過去最高益を更新できる見通しとなりましたことから、1株につき3.5円の中間配当を実施することといたしました。通期の配当は、昨年同様の1株につき7円を継続したいと存じます。

## (2) 経営成績及び財政状態

### a. 経営成績

#### a - 1 当期の概況

##### 【当中間期の経営環境】

当上半期の鉄鋼業は、国内においては自動車・造船等の製造業向けや民間設備投資関連を中心とする旺盛な鋼材需要が持続し、輸出においても、世界景気の着実な回復から鋼材需要は堅調に推移いたしました。

また、原料につきましては、世界的な需給逼迫による鉄鉱石の価格上昇に加え、特に亜鉛、ニッケルなどの副原料の価格が高騰いたしました。

##### 【企業集団の経営施策】

このような経営環境のもと、当社グループでは、得意とするエネルギー・自動車分野向け等の高級品につきましては旺盛な需要が継続し、その増産に努め、他方、一般汎用品につきましては、減産を含めた慎重な生産姿勢を引き続き堅持しました結果、当社グループの粗鋼生産量は667万トンと高水準となりました。

こうした中、お客様からの鋼材の安定供給のご要請に対応するために、原料の確保、生産設備の安定稼動に努めるとともに、コスト削減や鋼材価格の改善につきましても引き続き注力してまいりました。

##### 【当中間期の業績】

これらの取り組みの結果、当中間期の連結決算につきましては、売上高は7,682億円(対前中間期376億円増)、営業利益は1,351億円(対前中間期96億円減)、経常利益は1,560億円(対前中間期241億円増)、中間純利益は997億円(対前中間期77億円増)となり、経常利益、中間純利益は過去最高となりました。

単独決算につきましても、売上高は4,951億円(対前中間期451億円増)、営業利益は1,161億円(対前中間期118億円増)、経常利益は1,273億円(対前中間期371億円増)、中間純利益は773億円(対前中間期342億円増)となり、営業利益、経常利益、中間純利益は過去最高となりました。

(セグメント別の状況)

<鉄鋼事業>

#### 鋼板・建材カンパニー

鹿島製鉄所において競争力強化に向けた投資を行っております。

まず、粗鋼年産 800 万トン体制を磐石なものとするために、来年 5 月の完成を目指し、第 3 高炉の拡大改修（投資総額 290 億円）を進めております。

また、自動車・電機等向け亜鉛めっき鋼板に対する今後の需要増大に的確に対応するために、本年 11 月末の完成を目指し、溶融亜鉛めっき鋼板設備の建設（投資総額 170 億円）を進めております。

加えて、当社の強みであるエネルギー関連分野向けハイエンド厚板（電力・石油・天然ガス等の生産・輸送・貯蔵用途）の需要拡大に対応するために、70 億円を投じ、加熱炉の増強等を行い、生産能力を年産 190 万トンから 200 万トンへ拡大することを決定いたしました。

さらに、来年 6 月の営業運転開始に向け、電力卸供給（IPP）用発電設備（投資総額 570 億円）の試運転を開始しました。

鋼板建材カンパニーの連結売上高は 2,836 億円となりました。

#### 鋼管カンパニー

BRICs などの経済成長を背景とした世界的なエネルギー需要の高まりから、石油・天然ガス開発が活発化し、当社が得意とする高級鋼管の需要が増加しております。当社はこれらに対応し、世界 1 の鋼管サプライヤーの地位を磐石なものとするために、設備投資の実施を決定いたしました。

シームレスパイプにつきましては、和歌山製鉄所を中心に 350 億円を投じ、最先端商品化投資を決定いたしました。この投資による生産能力増強 10 万トンのうち 7 万トンは、スーパーハイアロイ油井管や 13 クロム油井管などの最先端商品での増加となります。

大径溶接鋼管につきましても、陸上・長距離天然ガスパイプラインプロジェクトにおける高圧高効率輸送化を可能にする超高強度ラインパイプの量産要請をうけ、鹿島製鉄所の製鋼工場、厚板工場、大径管工場にまたがる投資（投資総額 100 億円）を決定いたしました。

さらに、和歌山製鉄所におきましては、高炉の更新や環境対策も含めた上工程の強化（投資総額 1,600 億円）を進めております。

鋼管カンパニーの連結売上高は 2,817 億円となりました。

## 交通産機品カンパニー

自動車用鍛造クランクシャフト事業につきましては、世界市場での 10%以上の供給を目指す事業戦略「グローバル 10」の一環として、米国拠点であるインターナショナル クランクシャフト社において、第 3 鍛造プレスラインの設置を決定いたしました。これにより、日本・中国と合わせ 3 拠点において「グローバル 10」の実現に向け、年産 880 万本体制を構築してまいります。

鉄道車両品事業につきましては、米国における貨車向けの鍛鋼車輪の需要拡大に対応するために、製鋼所の車輪の加工、熱処理設備の増強を実施しました。

交通産機品カンパニーの連結売上高は 506 億円となりました。

## 住友金属小倉

株式会社住友金属小倉では、自動車向けを中心とする高級特殊鋼の需要が引き続き堅調に推移しており、高水準の操業が継続しております。こうした中、冷間圧造用鋼線の供給能力拡大を目的として、線材二次加工設備の増強を進めております。

また、さらなる品質競争力の向上にむけて、製鋼プロセス革新のための投資（投資総額 200 億円）を進めてまいります。

これらに株式会社住友金属直江津等を合わせた鉄鋼事業の連結売上高は 7,110 億円、連結営業利益は 1,323 億円となりました。

## <エンジニアリング事業>

エンジニアリング事業の連結売上高は 49 億円、連結営業利益は 8 億円となりました。

## <エレクトロニクス事業>

エレクトロニクス事業の連結売上高は 293 億円、連結営業利益は 12 億円となりました。

## <その他の事業>

上記事業の他、その他の事業の連結売上高は 229 億円、連結営業利益は 25 億円となりました。

#### a - 2 通期の見通し

当下半期の見通しにつきましては、国内外の景気は全般的に順調な拡大が続くものと予想される一方、原油価格動向や米国経済の減速の影響が懸念されます。鉄鋼業につきましては、エネルギー分野向け製品や自動車を主体とした製造業向け製品を中心に、当社グループが得意とする高級品の需要は、引き続き堅調に推移するものと見込まれます。

こうした中、当社グループといたしましては、エネルギー・自動車分野向け等の高級品の供給体制の整備を進めるなど、『中期経営計画 2006～2008』の諸施策を着実に実行するとともに、引き続きコスト削減や鋼材価格の改善に努めてまいります。

通期の連結決算につきましては、売上高は 15,600 億円、営業利益は 2,800 億円、経常利益は 3,000 億円、当期純利益は 1,900 億円、単独決算につきましては、売上高は 10,000 億円、営業利益は 2,250 億円、経常利益は 2,250 億円、当期純利益は 1,300 億円となる見込みです。

なお、上記の業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

## b. 財政状態

当中間期は、連結経常利益、連結中間純利益とも、過去最高益を更新する好業績等により、営業活動から得た資金が746億円となる一方、投資活動で436億円、配当金の支払い、借入残高圧縮活動等財務活動で384億円を使用いたしました結果、当中間期末資金残高は対前期末比70億円減少し255億円となりました。

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度 中間期
自己資本比率	18.8%	25.1%	34.1%	37.1%
時価ベースの 自己資本比率	33.4%	48.2%	114.8%	102.7%
債務償還年数	5.5年	3.3年	2.2年	-
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	9.5倍	15.0倍	24.8倍	13.6倍

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

債務償還年数 : 借入残高 / (営業キャッシュ・フロー - 利払い)  
(中間期は記載していません。)

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

借入残高は借入金・社債・コマーシャルペーパーを合わせた残高から現預金残高を控除した実質的な借入残高を使用しております。

営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しており、利払いは連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## c. 事業等のリスク

当社および当社グループの事業その他に関しては、鉄鋼原料価格、製品販売価格、為替レート、金利変動、自然災害および事故、法令その他諸規範と規制等に関するリスクを有しており、投資家の判断に重要な影響を及ぼす可能性があると考えられます。当社は、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避および発生した場合の対応に努めてまいります。

## 2. 中間連結損益計算書

科 目	当中間期 (18年度上半期)		前年中間期 (17年度上半期)		増 減 百万円	前 期 (17年度)	
	百万円	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円
売 上 高		768,222		730,565	37,656		1,552,765
売 上 原 価		561,355		518,570	42,785		1,106,953
売 上 総 利 益		206,866		211,995	5,128		445,811
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		71,738		67,189	4,548		140,007
営 業 利 益		135,128		144,805	9,677		305,804
営 業 外 収 益							
受 取 利 息	718		515			963	
受 取 配 当 金	3,345		2,006			3,093	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	24,570		6,811			16,676	
そ の 他	6,579	35,213	2,844	12,178	23,034	6,757	27,491
営 業 外 費 用							
支 払 利 息	5,419		6,495			12,299	
そ の 他	8,914	14,333	18,647	25,143	10,809	40,262	52,561
経 常 利 益		156,007		131,840	24,167		280,733
特 別 利 益							
投 資 有 価 証 券 売 却 益	-	-	6,843	6,843	6,843	47,871	47,871
特 別 損 失							
減 損 損 失	3,564		3,179			3,179	
事 業 再 編 損	1,106		5,056			4,788	
固 定 資 産 売 廃 却 損	-		-			8,244	
P C B 処 理 費 用	-		-			2,108	
完 成 工 事 補 償 損 失	-	4,670	-	8,236	3,565	4,101	22,422
税金等調整前中間(当期)純利益		151,337		130,448	20,889		306,183
法人税、住民税及び事業税	49,491		50,565			102,662	
法人税等調整額	1,154	50,646	13,409	37,155	13,490	20,305	82,356
少数株主損益		906		1,220	313		2,573
中間(当期)純利益		99,784		92,072	7,712		221,252

## 3. 中間連結貸借対照表

科 目	当中間期 18年9月末	前年中間期 17年9月末	前 期 18年3月末	科 目	当中間期 18年9月末	前年中間期 17年9月末	前 期 18年3月末
(資産の部)	百万円	百万円	百万円	(負債の部)	百万円	百万円	百万円
流動資産	665,548	620,751	675,217	流動負債	805,289	902,625	862,954
現金及び預金	25,576	22,037	32,669	支払手形及び買掛金	368,358	329,558	348,385
受取手形及び売掛金	204,291	180,175	211,772	短期借入金	239,937	388,642	290,645
有価証券	0	0	0	コマーシャルペーパー	15,000	-	-
棚卸資産	375,249	352,014	364,501	一年内償還予定社債	15,000	31,400	11,450
その他	60,905	67,096	66,784	その他	166,993	153,024	212,473
貸倒引当金	474	573	511	固定負債	485,569	479,465	488,264
固定資産	1,454,815	1,379,754	1,438,128	社債	91,157	96,600	96,200
有形固定資産	1,016,724	1,000,353	1,009,499	長期借入金	306,637	279,535	281,483
建物及び構築物	233,505	240,003	237,308	退職給付引当金	31,564	34,022	33,218
機械装置及び運搬具	330,198	352,181	339,493	特別修繕引当金	4,247	4,247	4,234
土地	349,432	345,998	359,214	その他	51,962	65,059	73,128
建設仮勘定	93,957	52,727	63,989	負債合計	1,290,858	1,382,091	1,351,219
その他	9,629	9,442	9,493	(純資産の部)			
無形固定資産	5,654	5,956	6,212	株主資本	701,557	-	-
投資その他の資産	432,436	373,443	422,416	資本金	262,072	-	-
投資有価証券	395,689	334,888	385,141	資本剰余金	61,897	-	-
その他	37,564	39,519	38,996	利益剰余金	378,505	-	-
貸倒引当金	816	964	1,721	自己株式	917	-	-
繰延資産	-	46	45	評価・換算差額等	85,778	-	-
				その他有価証券評価差額金	78,440	-	-
				繰延ヘッジ損益	1,987	-	-
				土地再評価差額金	11,938	-	-
				為替換算調整勘定	2,613	-	-
				少数株主持分	42,168	-	-
				純資産合計	829,505	-	-
				負債及び純資産合計	2,120,363	-	-
				(少数株主持分)			
				少数株主持分	-	39,272	41,305
				(資本の部)			
				資本金	-	262,072	262,072
				資本剰余金	-	61,897	61,897
				利益剰余金	-	183,253	300,587
				土地再評価差額金	-	16,547	16,061
				その他有価証券評価差額金	-	57,641	84,385
				為替換算調整勘定	-	1,894	3,591
				自己株式	-	327	545
				資本合計	-	579,190	720,866
資産合計	2,120,363	2,000,553	2,113,391	負債、少数株主持分及び資本合計	-	2,000,553	2,113,391

## 4. 中間連結株主資本等変動計算書及び中間連結剰余金計算書

## 中間連結株主資本等変動計算書

当中間期（18年度上半期）

項目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前期末残高	262,072	61,897	300,587	545	624,011
当中間期中の変動額					
剰余金の配当			21,611		21,611
役員賞与金			200		200
中間純利益			99,784		99,784
自己株式の取得				371	371
自己株式の処分		0			0
その他			56	0	56
株主資本以外の項目の 当中間期中の変動額(純額)					-
当中間期中の変動額 合計	-	0	77,917	371	77,546
当中間期末残高	262,072	61,897	378,505	917	701,557

項目	評価・換算差額等					少数株主 持分	+ + 純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前期末残高	84,385	-	16,061	3,591	96,855	41,305	762,172
当中間期中の変動額							
剰余金の配当							21,611
役員賞与金							200
中間純利益							99,784
自己株式の取得							371
自己株式の処分							0
その他							56
株主資本以外の項目の 当中間期中の変動額(純額)	5,944	1,987	4,122	977	11,076	863	10,213
当中間期中の変動額 合計	5,944	1,987	4,122	977	11,076	863	67,332
当中間期末残高	78,440	1,987	11,938	2,613	85,778	42,168	829,505

## 中間連結剰余金計算書

科目	前中間期 (17年度上半期)		前 期 (17年度)	
	百万円	百万円	百万円	百万円
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高		61,897		61,897
資本剰余金中間期末(期末)残高		61,897		61,897
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		115,851		115,851
利益剰余金増加高				
中間(当期)純利益	92,072		221,252	
新規連結等による増加	-	92,072	6	221,259
利益剰余金減少高				
配当金	24,016		36,023	
役員賞与	135		135	
連結除外等による減少	518	24,670	364	36,523
利益剰余金中間期末(期末)残高		183,253		300,587

## 5. 中間連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当 中 間 期 (18年度上半期)	前年中間期 (17年度上半期)	増 減	前 期 (17年度)
	百万円	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前中間(当期)純利益	151,337	130,448	20,889	306,183
減 価 償 却 費	35,165	37,131	1,966	76,393
受 取 利 息 及 び 受 取 配 当 金	4,063	2,521	1,541	4,057
支 払 利 息	5,419	6,495	1,076	12,299
持 分 法 に よ る 投 資 損 益	24,570	6,811	17,758	16,676
売 上 債 権 の 増 減 額	5,946	10,764	4,817	21,243
棚 卸 資 産 の 増 減 額	23,787	45,638	21,850	57,583
仕 入 債 務 の 増 減 額	20,833	33,525	12,692	52,065
そ の 他	91,592	13,117	78,474	35,437
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,689	150,276	75,586	311,943
投資活動によるキャッシュ・フロー				
利 息 及 び 配 当 金 の 受 取 額	8,927	5,098	3,829	8,684
有 形 無 形 固 定 資 産 の 取 得 に よ る 支 出	58,865	44,764	14,101	100,028
そ の 他	6,315	10,628	16,944	27,451
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,621	50,294	6,672	63,892
財務活動によるキャッシュ・フロー				
利 息 の 支 払 額	5,487	6,611	1,124	12,600
社 債 及 び 借 入 金 の 増 減 額	7,925	90,461	82,536	207,209
配 当 金 の 支 払 額	21,611	24,016	2,405	36,023
そ の 他	3,472	250	3,722	2,533
財務活動によるキャッシュ・フロー	38,496	120,839	82,342	258,367
現金及び現金同等物に係る換算差額	275	352	77	479
現金及び現金同等物の増減額	7,152	20,504	13,351	9,837
現金及び現金同等物の期首残高	32,596	42,416	9,820	42,416
連結範囲変動による現金及び現金同等物の増減	69	4	65	17
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	25,512	21,915	3,597	32,596

(注) 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	(18年9月末)	(17年9月末)	(18年3月末)
現金及び預金勘定	25,576 百万円	22,037 百万円	32,669 百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	63	121	73
償還期限が3ヶ月以内の有価証券	-	-	-
現金及び現金同等物	25,512	21,915	32,596

(注) 1. 連結の範囲に関する事項

(イ) 連結子会社の数 71社

主要な連結子会社名

(株)住友金属小倉、東アジア連合鋼鉄(株)、(株)住金鋼鉄和歌山、住友金属建材(株)、(株)住友金属直江津、住友鋼管(株)、住金スチール(株)、住友金属物流(株)、(株)住友金属エレクトロデバイス、ウェスタン チューブ アンド コンジット、シーモア チュービング、インターナショナル クランクシャフト、惠州住金鍛造有限公司、広州友日汽车配件有限公司

当中間連結会計期間に新たに営業を開始した2社のほか、重要性の観点からインディアナ プレシジョン フォージを連結子会社に加え、子会社でなくなった鳴海製陶(株)等4社を連結子会社から除外しております。

(ロ) 主要な非連結子会社の名称等

有田海運(株)他

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないためであります。

2. 持分法適用に関する事項

(イ) 持分法適用の非連結子会社数 2社

主要な会社名

関東特殊製鋼(株)

重要性の観点からインディアナ プレシジョン フォージを持分法の適用範囲から除外しております。

(ロ) 持分法適用の関連会社数 29社

主要な会社名

(株)SUMCO、鹿島共同火力(株)、第一中央汽船(株)、住友精密工業(株)、共英製鋼(株)、住友チタニウム(株)、住金物産(株)、新日鐵住金ステンレス(株)、中央電気工業(株)、日鐵住金溶接工業(株)

当中間連結会計期間に新たに関連会社となった2社を持分法の適用範囲に加えております。

なお、(株)SUMCOについては、同社の連結財務諸表に基づき持分法を適用しております。

(ハ) 持分法を適用していない非連結子会社及び関連会社(株)片倉の鋼管(他)は、当期純損益(持分に見合う額)及び利益剰余金(持分に見合う額)等からみて、持分法の対象から除いても連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため、持分法の適用範囲から除外しております。

	(当中間期)	(前年中間期)	(前期)
3. 有形固定資産の減価償却累計額	2,207,707 百万円	2,161,815 百万円	2,186,895 百万円
4. 受取手形割引高	8 百万円	- 百万円	- 百万円
5. 保証債務等残高	44,876 百万円	43,110 百万円	64,242 百万円
6. 繰延税金資産の総額	28,180 百万円	20,116 百万円	29,676 百万円
繰延税金負債の総額	27,447 百万円	21,946 百万円	35,607 百万円

## 7. 発行済株式に関する事項

	前連結会計年度末	増加	減少	当中間連結会計期間末
普通株式	株 4,805,974,238	株 -	株 -	株 4,805,974,238

## 8. 自己株式に関する事項

	前連結会計年度末	増加	減少	当中間連結会計期間末
普通株式	株 3,806,634	株 789,708	株 -	株 4,596,342

(注) 普通株式の増加789,708株は、単元未満株式の買取り等によるものであります。

## 9. 配当に関する事項

## (イ) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成18年6月27日 定時株主総会	普通株式	21,611	4.5	平成18年3月31日	平成18年6月27日

(ロ) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間後になるもの

決議	株式の種類	配当の 原資	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成18年10月31日 取締役会	普通株式	利益剰 余金	16,805	3.5	平成18年9月30日	平成18年12月1日

## 6. セグメント情報

## (1) 事業の種類別セグメント情報

当中間期

項 目	鉄 鋼	エンジニアリング	ILK外口	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高及び営業利益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	711,021	4,966	29,328	22,905	768,222	-	768,222
(2)ILK外間の内部売上高又は振替高	252	-	-	8,587	8,840	(8,840)	-
計	711,274	4,966	29,328	31,493	777,063	(8,840)	768,222
営業費用	578,970	5,783	28,099	28,928	641,781	(8,686)	633,094
営業利益	132,303	816	1,229	2,565	135,282	153	135,128

前年中間期

項 目	鉄 鋼	エンジニアリング	ILK外口	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高及び営業利益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	660,662	19,202	30,236	20,462	730,565	-	730,565
(2)ILK外間の内部売上高又は振替高	2,266	-	-	8,106	10,373	(10,373)	-
計	662,929	19,202	30,236	28,569	740,938	(10,373)	730,565
営業費用	518,532	21,433	28,825	27,001	595,792	(10,032)	585,759
営業利益	144,397	2,230	1,411	1,567	145,146	341	144,805

前期

項 目	鉄 鋼	エンジニアリング	ILK外口	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高及び営業利益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,405,468	39,024	60,842	47,429	1,552,765	-	1,552,765
(2)ILK外間の内部売上高又は振替高	3,523	-	-	16,305	19,829	(19,829)	-
計	1,408,991	39,024	60,842	63,735	1,572,594	(19,829)	1,552,765
営業費用	1,104,688	43,989	58,494	59,069	1,266,242	(19,281)	1,246,961
営業利益	304,303	4,965	2,347	4,666	306,352	548	305,804

(注) 1. 事業区分に属する主要な製品等

事業区分	主要な製品等	
鉄 鋼 事 業	鋼 板	構造用厚鋼板、低温用鋼板、ラインパイプ用鋼板、高張力鋼板、熱延鋼板、冷延鋼板、電磁鋼板、溶融亜鉛めっき鋼板、電気亜鉛めっき鋼板、カラー鋼板、プレコート鋼板、ステンレス精密圧延鋼板、純ニッケル鋼板他
	建 材 製 品	H形鋼、外法一定H形鋼、軽量H形鋼、鋼矢板、鋼管杭他
	鋼 管	継目無鋼管、電気抵抗溶接鋼管、大径アーク溶接鋼管、熱間溶接鋼管、異形鋼管、各種被覆鋼管、ステンレス鋼管他
	条 鋼	機械構造用鋼、冷間鍛造用鋼、ばね鋼、快削鋼、軸受鋼、スチールコード用線材、ステンレス条鋼他
	鉄道車両用品	車輪、車軸、台車、駆動装置、連結器他
	鑄 鍛 鋼 品	鍛造クランクシャフト、金型用鋼、アルミホイール、鉄塔用フランジ、溝型車輪、圧延用ロール他
	半 製 品	鋼片、製鋼用銑他
	そ の 他	チタン製品、製鉄技術、鋼材等の海上・陸上輸送、設備メンテナンス、パイプライン、エネルギープラント他
エンジニアリング事業	橋梁・土木製品、システム建築他	
エレクトロニクス事業	ICパッケージ、電子部品他	
そ の 他 の 事 業	不動産の賃貸・販売、試験・分析事業他	

2. 事業区分の変更

エンジニアリング事業に属していた当社及び住友金属プラント(株)のエネルギーエンジニアリング事業(パイプライン、エネルギープラント)について、平成17年10月1日に住友金属パイプエンジニア(株)へ事業を再編・統合し、鋼管カンパニー所管に変更となったため、鉄鋼事業へ移管しました。前年中間期までエンジニアリング事業に計上していた当該事業の売上高、営業費用、営業利益の各項目につき、鉄鋼事業に計上して表示すると以下の通りであります。

(前年中間期 事業区分変更後)

項 目	鉄 鋼	エンジニアリング	エレクトロニクス	その他	計	消 去 又は全社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高及び営業利益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	668,361	11,504	30,236	20,462	730,565	-	730,565
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,526	-	-	8,106	9,632	(9,632)	-
計	669,887	11,504	30,236	28,569	740,198	(9,632)	730,565
営業費用	525,914	13,310	28,825	27,001	595,051	(9,291)	585,759
営業利益	143,972	1,805	1,411	1,567	145,146	341	144,805

(前期 事業区分変更後)

項 目	鉄 鋼	エンジニアリング	エレクトロニクス	その他	計	消 去 又は全社	連 結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高及び営業利益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,413,166	31,326	60,842	47,429	1,552,765	-	1,552,765
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,782	-	-	16,305	19,088	(19,088)	-
計	1,415,949	31,326	60,842	63,735	1,571,853	(19,088)	1,552,765
営業費用	1,112,070	35,867	58,494	59,069	1,265,501	(18,540)	1,246,961
営業利益	303,879	4,540	2,347	4,666	306,352	548	305,804

(2)海外売上高

項 目	当 中 間 期			前 年 中 間 期			前 期		
	アジア	その他	計	アジア	その他	計	アジア	その他	計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
海外売上高	212,442	101,065	313,507	192,450	81,065	273,515	410,370	173,421	583,791
連結売上高			768,222			730,565			1,552,765
連結売上高に占める 海外売上高の割合	27.7%	13.1%	40.8%	26.3%	11.1%	37.4%	26.4%	11.2%	37.6%

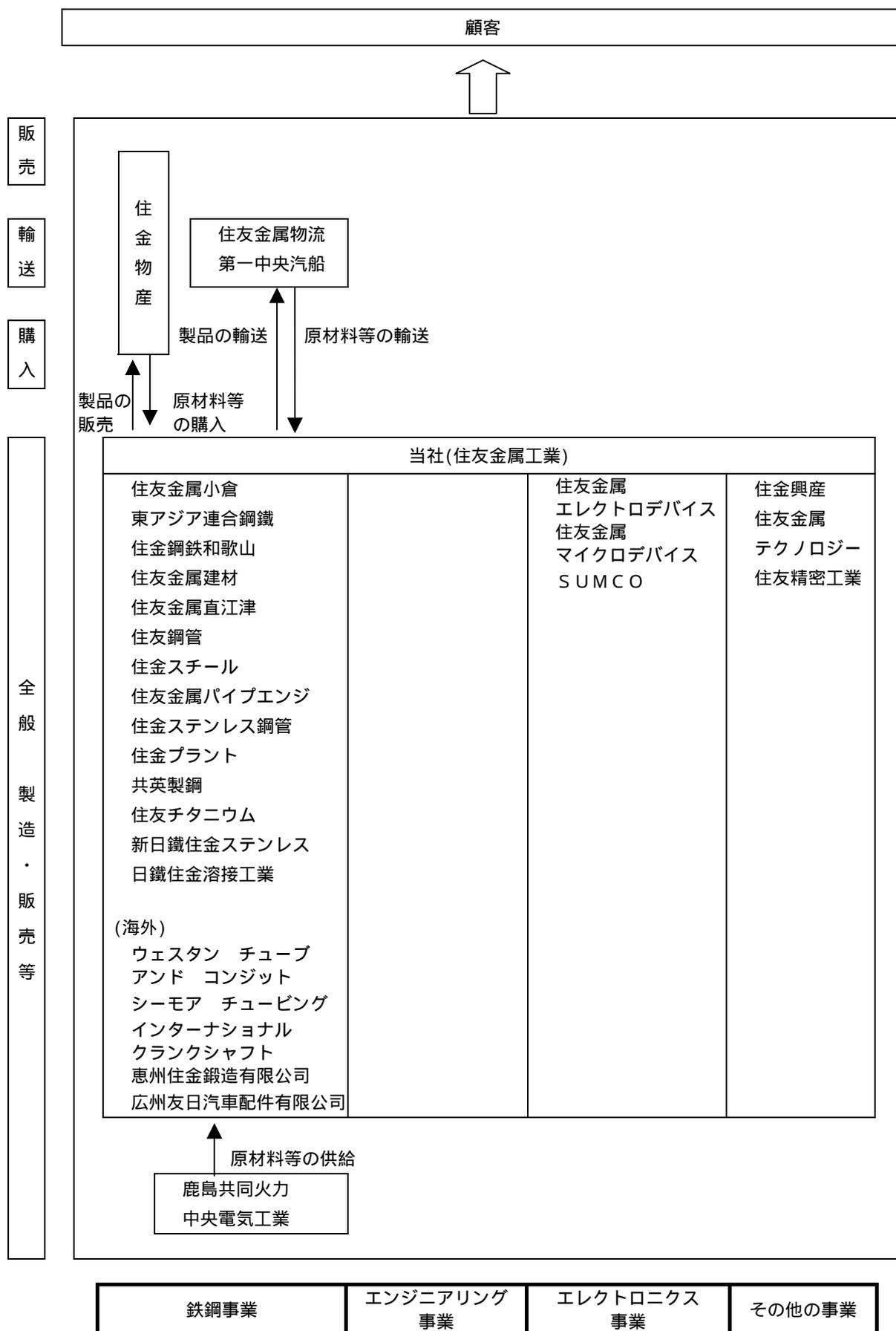
(注) 各区分に属する主な国又は地域

アジア：中国、韓国、東南アジア、中近東等

7. 有価証券

種 類	当中間期 (18年9月末)			前年中間期 (17年9月末)			前期 (18年3月末)		
	取得原価	貸借対照表 計上額	差 額	取得原価	貸借対照表 計上額	差 額	取得原価	貸借対照表 計上額	差 額
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
その他有価証券で 時価のあるもの									
株 式	88,752	206,096	117,343	73,826	165,276	91,449	88,975	216,747	127,771
債 券	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	88,752	206,096	117,343	73,826	165,276	91,449	88,975	216,747	127,771

8. 企業集団の状況



注 は連結子会社を表す。

**(参考) 連結子会社及び持分法適用会社の概要**

## 1. 連結子会社 (計71社: 国内54社、海外17社)

会社名	資本金 (百万円)	事業の内容等
(1) 鉄鋼事業 48社 (国内34社、海外14社)		
(株)住友金属小倉	27,000	棒鋼・線材の製造・販売
東アジア連合鋼鐵(株)	17,217	(株)住金鋼鐵和歌山の持株会社
(株)住金鋼鐵和歌山	17,217	鉄鋼半製品の製造・販売
住友金属建材(株)	7,496	塗装鋼板・冷延鋼板・建材・仮設機材等の製造・販売
(株)住友金属直江津	5,500	ステンレス精密圧延品・ステンレス形鋼の製造・販売
住友鋼管(株)	4,801	電線管用・配管用・構造用・引抜用等鋼管の製造・販売 (上場取引所 東1部)
住金スチール(株)	3,000	H形鋼の製造・販売
住友金属パイプエンジニア(株)	2,800	パイプライン工事等の請負
住友金属物流(株)	1,515	鋼材等の海上・陸上輸送及びその付帯業務
住金ステンレス鋼管(株)	916	ステンレス鋼管の製造・販売
住金プラント(株)	600	設備メンテナンスの請負等
ウエストンチューブアンドコングリット	17,000千米ドル	電線管・フェンス管等溶接鋼管の製造・販売
シーモアチュービング	10,000千米ドル	自動車用鋼管の製造・販売
インターナショナルクランクシャフト	22千米ドル	自動車用小型鍛造クランクシャフトの製造・販売
惠州住金鍛造有限公司	167百万円	自動車用小型鍛造クランクシャフトの製造・販売
広州友日汽车配件有限公司	53百万円	自動車用メカニカル鋼管の製造・販売
その他 32社		
(2) エンジニアリング事業 2社 (国内2社)		
(3) エレクトロニクス事業 8社 (国内5社、海外3社)		
(株)住友金属エレクトロデバイス	1,500	ICパッケージの製造・販売
(株)住友金属マイクロデバイス	450	電子部品の製造・販売
その他 6社		
(4) その他の事業 13社 (国内13社)		
住金興産(株)	100	不動産の賃貸・販売
住友金属テクノロジー(株)	100	試験・分析事業
その他 11社		

## 2. 持分法適用会社 (計31社: 国内24社、海外7社)

会社名	資本金 (百万円)	事業の内容
(株) S U M C O	82,173	半導体シリコンウエーハの製造・販売
鹿島共同火力(株)	22,000	火力発電
第一中央汽船(株)	13,258	海運事業及びその付帯業務
住友精密工業(株)	10,309	航空宇宙油機・熱交換器・産業環境機器等の製造・販売
共英製鋼(株)	10,273	鋼片・棒鋼・形鋼・平鋼等の製造・販売及び鋼材の加工・販売
住友チタニウム(株)	8,739	金属チタン・多結晶シリコン・シリコン及びチタン加工品の製造・販売
住金物産(株)	8,077	鉄鋼・繊維・食糧等各種商品の販売及び輸出入業
新日鐵住金ステンレス(株)	5,000	ステンレス鋼の製造・販売
中央電気工業(株)	3,630	マンガン系合金鉄・水素吸蔵合金等の製造・販売
日鐵住金溶接工業(株)	2,100	溶接材料・溶接機器及び装置の製造・販売・施工
その他 21社		



## 平成 19 年 3 月期 個別中間財務諸表の概要

平成 18 年 10 月 31 日

上場会社名 住友金属工業株式会社

上場取引所 東 大 名 札 福

コード番号 5405

本社所在都道府県 大阪府

(URL <http://www.sumitomometals.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 友野 宏

問合せ先責任者 役職名 広報グループ長 氏名 松井 俊文 TEL (03) 4416-6115

中間決算取締役会開催日 平成 18 年 10 月 31 日 中間配当支払開始日 平成 18 年 12 月 1 日

単元株制度採用の有無 有(1単元 1,000株)

1. 18年9月中間期の業績(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

## (1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年9月中間期	495,148	10.0	116,170	11.4	127,372	41.1
17年9月中間期	450,023	25.9	104,273	88.3	90,243	90.9
18年3月期	954,913	-	222,334	-	194,587	-

	中間(当期)純利益		1株当たり中間 (当期)純利益
	百万円	%	円 銭
18年9月中間期	77,332	79.5	16.10
17年9月中間期	43,073	51.3	8.97
18年3月期	129,748	-	26.97

(注)1. 期中平均株式数 18年9月中間期 4,802,078,986株 17年9月中間期 4,803,138,962株  
18年3月期 4,802,891,100株

2. 会計処理の方法の変更 無

3. 売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

## (2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
18年9月中間期	1,721,022	673,474	39.1	140.26
17年9月中間期	1,525,968	526,422	34.5	109.60
18年3月期	1,656,555	625,724	37.8	130.25

(注)1. 期末発行済株式数 18年9月中間期 4,801,672,919株 17年9月中間期 4,802,950,239株  
18年3月期 4,802,462,909株

2. 期末自己株式数 18年9月中間期 4,301,319株 17年9月中間期 3,023,999株  
18年3月期 3,511,329株

3. 17年9月中間期および18年3月期の「純資産」、「自己資本比率」、「1株当たり純資産」の数値については、従来の「株主資本」、「株主資本比率」、「1株当たり株主資本」を記載しております。

2. 19年3月期の業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

通 期	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
	1,000,000	225,000	130,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 27円07銭

## 3. 配当状況

・現金配当

	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期 末	年 間
18年3月期	2.50	4.50	7.00
19年3月期(実績)	3.50	-	7.00
19年3月期(予想)	-	3.50	

なお、本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料7ページを参照下さい。

## 1. 中間損益計算書

科 目	当 中 間 期 ( 1 8 年 度 上 半 期 )		前 年 中 間 期 ( 1 7 年 度 上 半 期 )		増 減	前 期 ( 1 7 年 度 )	
	百万円	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円
売 上 高		495,148		450,023	45,124		954,913
売 上 原 価		344,439		314,184	30,254		666,082
売 上 総 利 益		150,709		135,839	14,870		288,830
販売費及び一般管理費		34,539		31,565	2,973		66,495
営 業 利 益		116,170		104,273	11,896		222,334
営業外収益							
受取利息及び受取配当金	15,644		4,017			7,349	
そ の 他 の 収 益	4,964	20,608	2,105	6,123	14,484	5,369	12,718
営業外費用							
支 払 利 息	4,116		4,492			8,882	
そ の 他 の 費 用	5,289	9,405	15,661	20,153	10,748	31,583	40,465
経 常 利 益		127,372		90,243	37,129		194,587
特別利益							
投資有価証券売却益	-	-	6,269	6,269	6,269	28,674	28,674
特別損失							
関係会社株式評価損	4,428		8,336			8,336	
事業再編損	2,811		22,056			21,291	
P C B 処 理 費 用	-		-			1,740	
完成工事補償損失	-	7,239	-	30,393	23,154	4,101	35,469
税引前中間(当期)純利益		120,133		66,119	54,014		187,792
法人税、住民税及び事業税	41,000		36,100			73,000	
法人税等調整額	1,801	42,801	13,053	23,046	19,755	14,955	58,044
中 間 ( 当 期 ) 純 利 益		77,332		43,073	34,258		129,748
前期繰越利益		-		66,268	-		66,268
中間配当額		-		-	-		12,007
中間(当期)未処分利益		-		109,342	-		184,009

2. 中間貸借対照表

科 目	当 中 間 期 18年 9 月 末	前 年 中 間 期 17年 9 月 末	前 期 18年 3 月 末	科 目	当 中 間 期 18年 9 月 末	前 年 中 間 期 17年 9 月 末	前 期 18年 3 月 末
(資産の部)	百万円	百万円	百万円	(負債の部)	百万円	百万円	百万円
流動資産	602,358	484,630	545,635	流動負債	619,322	619,112	622,134
現金及び預金	15,529	7,682	16,232	支払手形及び買掛金	254,808	218,787	229,135
受取手形及び売掛金	116,905	87,526	113,407	短期借入金	164,433	216,183	175,291
棚卸資産	200,240	188,043	194,975	コマーシャルペーパー	15,000	-	-
繰延税金資産	10,001	6,580	11,854	一年内償還予定社債	15,000	31,300	11,000
その他	259,753	194,870	209,266	その他	170,079	152,842	206,708
貸倒引当金	71	73	100	固定負債	428,226	380,433	408,695
固定資産	1,118,664	1,041,291	1,110,875	社債	91,157	96,200	96,200
有形固定資産	627,938	571,757	606,248	長期借入金	288,667	237,184	253,217
建物及び構築物	134,250	137,076	136,569	繰延税金負債	15,740	6,412	20,872
機械装置及び運搬具	202,095	216,330	208,947	退職給付引当金	8,841	10,053	10,060
土地	207,398	167,374	198,975	特別修繕引当金	4,190	4,190	4,190
建設仮勘定	80,192	46,937	57,770	その他	19,628	26,393	24,154
その他	4,001	4,038	3,985	負債合計	1,047,548	999,546	1,030,830
無形固定資産	1,054	1,169	1,116	(純資産の部)			
投資その他の資産	489,670	468,363	503,510	株主資本	603,467	-	-
投資有価証券	479,401	470,093	491,143	資本金	262,072	-	-
その他	28,191	19,561	26,407	資本剰余金	61,829	-	-
貸倒引当金	22	37	27	資本準備金	61,829	-	-
投資損失引当金	17,899	21,254	14,013	利益剰余金	280,461	-	-
繰延資産	-	46	45	利益準備金	38,374	-	-
社債発行差金	-	46	45	その他利益剰余金	242,086	-	-
				任意積立金	3,347	-	-
				繰越利益剰余金	238,739	-	-
				自己株式	896	-	-
				評価・換算差額等	70,007	-	-
				その他有価証券評価差額金	71,484	-	-
				繰延ヘッジ損益	1,477	-	-
				純資産合計	673,474	-	-
				負債及び純資産合計	1,721,022	-	-
				(資本の部)			
				資本金	-	262,072	262,072
				資本剰余金	-	61,829	61,829
				資本準備金	-	61,829	61,829
				利益剰余金	-	150,273	224,940
				利益準備金	-	38,374	38,374
				任意積立金	-	2,556	2,556
				中間(当期)未処分利益	-	109,342	184,009
				その他有価証券評価差額金	-	52,554	77,407
				自己株式	-	307	525
				資本合計	-	526,422	625,724
資産合計	1,721,022	1,525,968	1,656,555	負債及び資本合計	-	1,525,968	1,656,555

## 3. 株主資本等変動計算書

項目	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前期末残高	262,072	61,829	38,374	186,565	224,940	525	548,317
当中間期中の変動額							
剰余金の配当				21,611	21,611		21,611
役員賞与金				200	200		200
中間純利益				77,332	77,332		77,332
自己株式の取得						371	371
株主資本以外の項目の 当中間期中の変動額 (純額)							-
当中間期中の変動額 合計	-	-	-	55,520	55,520	371	55,149
当中間期末残高	262,072	61,829	38,374	242,086	280,461	896	603,467

項目	評価・換算差額等			+ 純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
	百万円	百万円		百万円
前期末残高	77,407	-	77,407	625,724
当中間期中の変動額				
剰余金の配当				21,611
役員賞与金				200
中間純利益				77,332
自己株式の取得				371
株主資本以外の項目の 当中間期中の変動額 (純額)	5,922	1,477	7,400	7,400
当中間期中の変動額 合計	5,922	1,477	7,400	47,749
当中間期末残高	71,484	1,477	70,007	673,474

(注) その他利益剰余金の内訳

項目	特別償却 準備金	特別修繕 準備金	圧縮記帳 積立金	繰越利益 剰余金	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前期末残高	234	170	2,150	184,009	186,565
当中間期中の変動額					
剰余金の配当				21,611	21,611
役員賞与金				200	200
中間純利益				77,332	77,332
その他利益剰余金の内訳 科目間の振替(純額)	205	292	293	790	-
当中間期中の変動額 合計	205	292	293	54,729	55,520
当中間期末残高	439	463	2,444	238,739	242,086

< 単独 >

	( 当中間期 )	( 前年中間期 )	( 前 期 )
(注) 1. 有形固定資産の 減価償却累計額	1,614,844 百万円	1,588,574 百万円	1,599,541 百万円
2. 保証債務等残高	109,175 百万円	204,800 百万円	165,360 百万円

3. 自己株式に関する事項

	前会計年度末	増加	減少	当中間会計期間末
	株	株	株	株
普通株式	3,511,329	789,990	-	4,301,319

(注) 普通株式の増加 789,990 株は、単元未満株式の買取によるものであります。

4. 有 価 証 券

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

種 類	当中間期 ( 1 8 年 9 月 末 )			前年中間期 ( 1 7 年 9 月 末 )			前期 ( 1 8 年 3 月 末 )		
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額	貸借対照表 計上額	時 価	差 額	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
子会社株式	6,530	10,928	4,398	6,530	13,731	7,201	6,530	14,534	8,004
関連会社株式	71,184	425,931	354,747	14,573	109,797	95,224	71,184	379,454	308,270
合 計	77,714	436,860	359,146	21,103	123,528	102,425	77,714	393,988	316,274

参 考 資 料

対 17 年 度 下 半 期 比 較 損 益 計 算 書

1 . 連 結 決 算

科 目	18 年度 上半期		17 年度 下半期		増 減 百万円
	百万円	百万円	百万円	百万円	
売 上 高		768,222		822,199	
売 上 原 価		561,355		588,383	
売 上 総 利 益		206,866		233,815	26,948
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		71,738		72,817	
営 業 利 益		135,128		160,998	25,870
受 取 利 息 及 び 受 取 配 当 金	4,063		1,535		
支 払 利 息	5,419		5,803		
持 分 法 に よ る 投 資 損 益	24,570		9,864		
そ の 他 の 営 業 外 損 益	2,334	20,879	17,702	12,105	32,985
経 常 利 益		156,007		148,892	7,115

2 . 単 独 決 算

科 目	18 年度 上半期		17 年度 下半期		増 減 百万円
	百万円	百万円	百万円	百万円	
売 上 高		495,148		504,889	
売 上 原 価		344,439		351,898	
売 上 総 利 益		150,709		152,991	2,281
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		34,539		34,930	
営 業 利 益		116,170		118,061	1,890
受 取 利 息 及 び 受 取 配 当 金	15,644		3,331		
支 払 利 息	4,116		4,389		
そ の 他 の 営 業 外 損 益	325	11,202	12,658	13,716	24,919
経 常 利 益		127,372		104,344	23,028

(参考資料)

平成18年10月31日  
住友金属工業株式会社

1. 全国粗鋼生産量

18年度上期			18年度 通期見通し
第1四半期	第2四半期	上期	
29百万トン	29百万トン	58百万トン	

2. 当社粗鋼生産量(株住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住友金属和歌山を含む)

18年度上期			18年度 通期見通し
第1四半期	第2四半期	上期	
329万トン	338万トン	667万トン	

3. 輸出比率(株住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住友金属和歌山を含む...金額ベース)

18年度上期			18年度 通期見通し
第1四半期	第2四半期	上期	
46%	46%	46%	

4. 想定為替レート

18年度上期			18年度 通期見通し
第1四半期	第2四半期	上期	
114円/\$	116円/\$	115円/\$	

5. 為替変動による業績影響(連結)

18年度見通し
\$受取超過額 15億\$/年程度

6. 鋼材平均価格(株住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住友金属和歌山を含む)

(単位:千円/トン)

18年度上期			18年度 通期見通し
第1四半期	第2四半期	上期	
95.5	97.9	96.7	

7. 18年度セグメント別の売上高及び営業損益見通し(連結) (単位:億円)

	上期		通期見通し	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益
鉄鋼	7110	1323	14500程度	2745程度
エンジニアリング	49	8	100程度	20程度
IL/テクノス	293	12	600程度	40程度
その他	229	24	400程度	35程度

8. 営業損益

	18年度見通し
連結	2800億円程度
単独	2250億円程度

9. 設備投資額、減価償却費（有形固定資産）（単位：億円）

	17年度		18年度見通し	
	連結	単独	連結	単独
設備投資額	826	519	1410程度	840程度
減価償却費	752	432	750程度	430程度

10. 人員推移

実働人員（単位：人）

	18/3末	18/9末	19/3末見通し
連結	25,639	25,509	25,200程度
単独	6,668	6,899	6,820程度

11. 損益変動要因分析（連結）

18/上半期 17/上半期

（為替レートTTM 18/上半期：115円/ドル程度 17/上半期：109円/ドル）

損益好転要因		損益悪化要因	
億円		億円	
(コスト改善)	60	(原料・資材)	200
(持分法損益)	180	(固定費増)	70
(為替差)	70	(評価損益)	140
(販売構成・価格他)	340		
合計	650	合計	410
差引経常利益 241億円好転 18/上：1560億円 17/上：1318億円			

12. 借入残高

（単位：億円）

	18/3末	18/9末	19/3末見通し
連結	6,797	6,677	7,200程度
単独	5,357	5,742	6,400程度

以上